

# 平成二十九年 入学試験問題

## 国語

### 第三回

【注 意】

- ・試験時間は五〇分です。(八時五〇分～九時四〇分)
- ・問題は一ページから七ページまでです。
- ・解答はすべて解答用紙の解答らんに記入してください。
- ・字数制限のない問題について、一行分の解答らんに二行以上解答してはいけません。
- ・解答用紙に受験番号、氏名を記入してください。



洗足学園中学校

1 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

25

20

15

10

5

60

55

50

45

40

35

30

## 問一

——(1)「パリのシャンゼリゼ通り」とありますが、筆者は何のためにこれを例示したのですか。解答らんに行以内で説明しなさい。

## 問二

「(2)の矢」とありますが、(2)に入れるのにふさわしい漢字二字の言葉を自分で考えて書きなさい。

問三 — (3) 「見えないことと目をつぶることは全く違うのです。」とありますが、どのような違いがありますか。解答らんに三行以内で説明しなさい。

問四 (4) に入れるのにふさわしい漢字二字の言葉をこれより前の文中から抜き出しなさい。

問五 — (5) 「昆虫や動物も立派な意味の構成者です。」とありますが、これはどういうことですか。解答らんに二行以内で説明しなさい。

問六 A 〷 D に入れるのにふさわしい言葉を次のア、エの中から一つずつ選び、記号で答えなさい。(ただし記号はそれぞれ一回ずつ使用します。)

ア つまり      イ あるいは  
ウ ところが      エ たとえば

問七 — (ア) (オ) のカタカナを漢字に書き直しなさい。

問八 本文の内容に合うものを次のア、エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 筆者は見えない人がどのような「意味」を構成しているのかに関心を持っていて、それは見えない人と見える人との関わり方にながると考えている。

イ 筆者は見えない人が視覚を持たないことを「欠如」とは考えず、むしろ、他の感覚を感じる人よりも強くするエネルギーのようなものだと考えている。

ウ 筆者は見えない人がどのような「自分にとっての世界」を作り出しているのかに注目しており、それは実は見える人とはまったく変わらない世界であると考えている。

エ 筆者は見える人が見えない人にどう接すればいいのかを提案していて、見えない人には「情報」ではなく「意味」の方が重要であることを理解すべきだと考えている。

2 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

30

25

20

15

10

5

60

55

50

45

40

35

95

90

85

80

75

70

65

---

130

125

120

115

110

105

100

## 問一

——(1)「しかし、家族と離れて独りでどこかへ行くなんて、考えただけで恐ろしいことだった。」とありますが、なぜそのように思ったのですか。その理由としてふさわしいものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 住んでいる団地の周囲には似たような建物が多く、外に出ると自分の団地の場所がわからなくなりそうだから。

イ 住んでいる団地にはどれもよく似た外見の家族が住んでいたのだから、自分の家族が誰だかわからなくなるのが不安だったから。

ウ 住んでいる団地にある家はそっくりな形をしていたので、一度離れてしまうと家族が入れ替わってしまうかもしれないと考えていたから。

エ 住んでいる団地にある家はどれも狭く動物の巣のように多くの人たちが住んでおり、知らない人ばかりで安心できなかったから。

## 問二

——(2)「母はヘンな顔をした。」とありますが、それはなぜですか。解答らんに二行以内で説明しなさい。

## 問三

——(3)「次から次へと現れる男たちが、みんなして祖母を知っている」とありますが、その理由を述べる次の文の空らん<sup>らん</sup>に当てはまる語句を本文から五字以上十字以内で抜き出して答えなさい。

男たちにとって祖母は 五字以上十字以内 だったから。

## 問四

——(4)「戦略」とありますが、これは具体的には誰が何のために何をすることですか。解答らんに二行以内で説明しなさい。

問五

——(5)「気がついたときは、集団登校で学校に行き、帰りは一人で喫茶店に駆け込む毎日を送っていた。」とありますが、一人で家を出られなかったわたしが一人で過ごせるようになったのはなぜですか。解答らんに行以内で説明しなさい。

問六

——(6)「命」とありますが、「命」を使った次の一～五の慣用句の意味を、後の「意味」ア～オの中から一つずつ選び、記号で答えなさい。

- 一 命をけずる
- 二 命からがら
- 三 命しらず
- 四 命の綱つな
- 五 命拾い

【意味】

- ア おそれることなく何かをすること。
- イ もっとも頼りになるもの。
- ウ 努力や苦心をする。
- エ やつとのこと。
- オ 運よく助かること。

問七

A D に入れるのにふさわしい言葉を次のア～エの中から一つずつ選び、記号で答えなさい。(ただし記号はそれぞれ一回ずつ使用します。)

- ア ゆっくり
- イ すっかり
- ウ ぼんやり
- エ さっぱり

問八

本文の内容に合うものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 「わたし」は家族と離れて一人になるのが怖くて仕方がなかったの  
で、学校に行くこともできず家族を困らせることになった。
- イ 母は「わたし」と学校の帰りに何気なく喫茶店に立ち寄り、そこで祖母の思わぬ過去を知ることになった。
- ウ 喫茶店のマスターは「わたし」のことをよく知っていたが、母のことを考えてははじめのうちはわざとそしらぬふりをしていた。
- エ 祖母が偶然見つけた喫茶店に入ったきっかけは若いころからコーヒーや紅茶が好きであったからである。







